



令和4・5年度 港区教育委員会研究奨励園

麻布幼稚園だより

令和5年5月号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

園庭に鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。「何年も出していない鯉のぼりがあるので。」と、元保護者の方が寄付をしてくださいました。近隣ではなかなか見る機会の少ない大きな鯉のぼりを子供たちはとても喜び、しばらくすると、年長組の子供たちがつくった鯉のぼりも加わりました。



新学期が始まり、ひと月が経とうとしています。子供たちは新たな保育室や生活に慣れ、楽しい遊びがあちらこちらで始まっています。

どの学級の子どもたちも、担任への信頼感を基盤に、新しい環境での生活のリズムが感じられるようになってきました。朝、お家の方と離れがたいということがあっても、担任との関わりを通して朝の身支度を済ませ、遊び始める様子が見られます。

これからの心地よい気候の季節、戸外での遊びをたっぷりと楽しんでいきたいと思います。

毎朝、子供たちや保護者の皆様と挨拶することをとても楽しみにしています。

立ち止まり、目を見て自分から挨拶をしてくれる姿は、とても素敵だなと思います。ですが、ニコニコ笑顔の挨拶をしてくれたり、チラリと顔を見たりと、その子なりの挨拶をしてくれる姿もとても素敵だなと思います。「おはようございます。」と、言葉でしっかりと挨拶ができるようになってほしいと思われるかもしれませんが、無理に言わせようと急がなくても大丈夫です。挨拶の仕方を伝えることは大事なことでありますが、大人同士が気持ちよく挨拶を交わす姿に触れること、相手に挨拶をしたいという気持ちをもつことがまずは大切です。いずれは、相手に伝わる形を身に付けていけるとよいと思いますが、形だけではない心が通う素敵な挨拶ができるようになることは、子どもたちの一生の宝物だと思います。

朝のスタートにもう一つ大切なのは、「登園時間に遅れずに来る」ことです。麻布幼稚園の子供たちは遅刻をすることがほとんどなく、気持ちのいいスタートができています。気持ちのいいスタートは、リズムよく身支度を終え、遊び始めることにつながります。

幼児期に、しっかりと眠りすっきりと目覚める習慣を身に付けさせることがとても大切です。骨や筋肉を作ったり免疫力を高めたりするのに必要な「成長ホルモン」、抗酸化作用や思春期が来るまで第二次性徴を抑えたりする働きをもつ「メラトニン」など、子供の成長に欠かせない大切な脳内物質は、幼児期の睡眠の時間に大量に分泌されるそうです。そして、朝の光を浴びること、日中は明るい環境で体を動かすこと、人と関わることで、心のバランスを整える「セロトニン」が増えます。遊びや生活に意欲的に取り組めることは、豊かな学びにつながります。

生涯にわたる望ましい生活習慣の基礎が築かれる幼児期。規則正しい生活リズム「早寝、早起き、朝ごはん、朝ウンチ」を習慣として、心も体も元気な生活を過ごしていきましょう。



(園庭のサクランボ)